

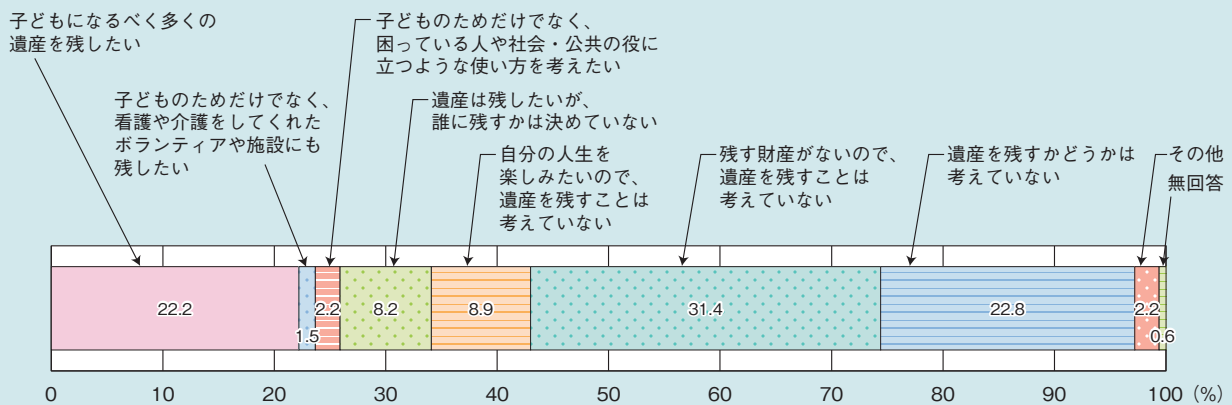
(7) 生活保護受給者（被保護人員）は増加傾向

生活保護については、平成21（2009）年における65歳以上の生活保護受給者数は69万人である。また、65歳以上人口に占める65歳以上の生活保護受給者の割合は2.37%である（図1-2-2-13）。

(8) 相対的貧困率は高齢期に上昇する傾向

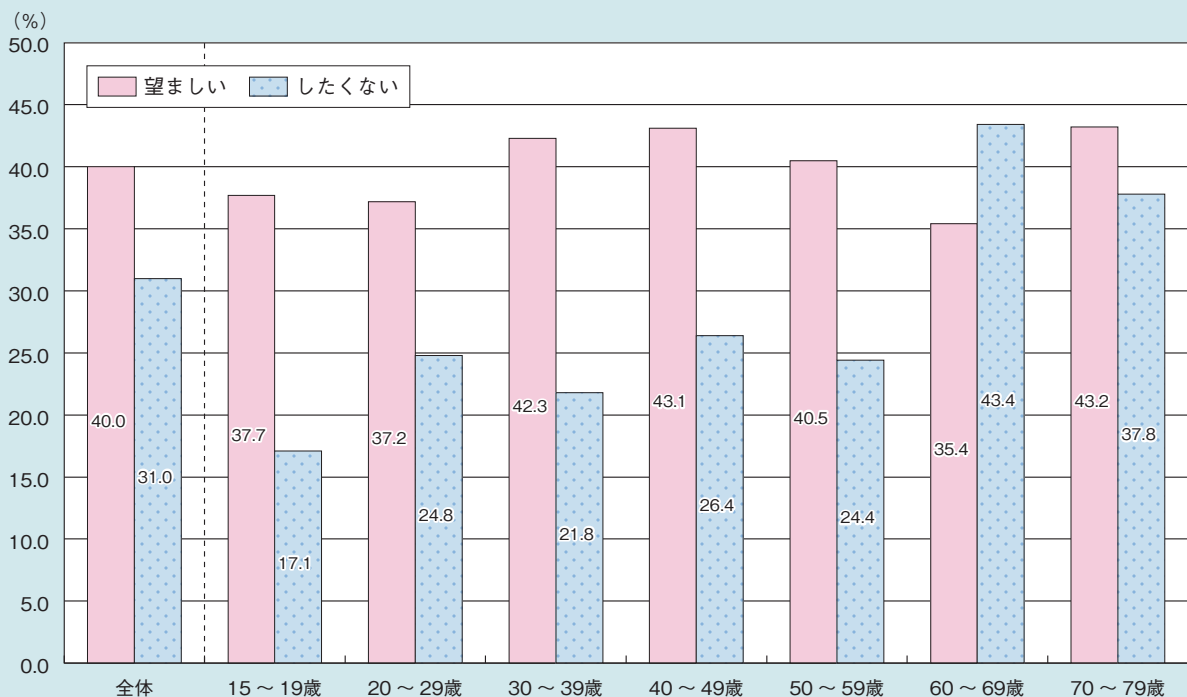
男女別・年齢別の相対的貧困率をみると、男女とも高齢期に上昇する傾向があるが、総じて男性よりも女性の貧困率は高く、その差は高齢期になるとさらに拡大している（図1-2-2-14）。

図1-2-2-11 遺産相続に関する意識



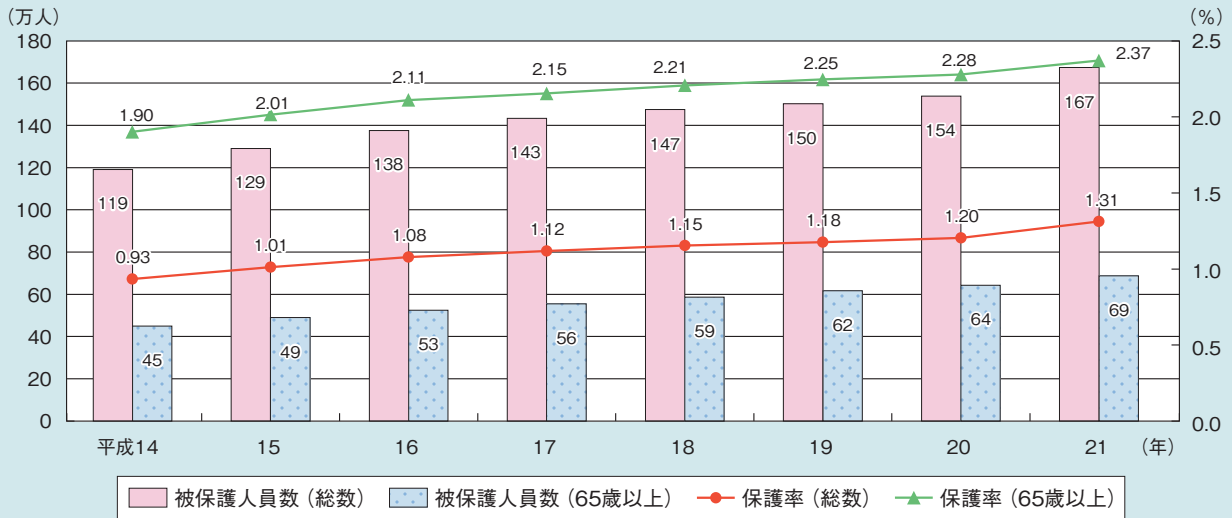
資料：内閣府「国民生活選好度調査」（平成16年）
 (注) 回答者は全国の15～79歳の男女3,670人。

図1-2-2-12 子どもへの財産の生前贈与に対する意識（年齢階級別）



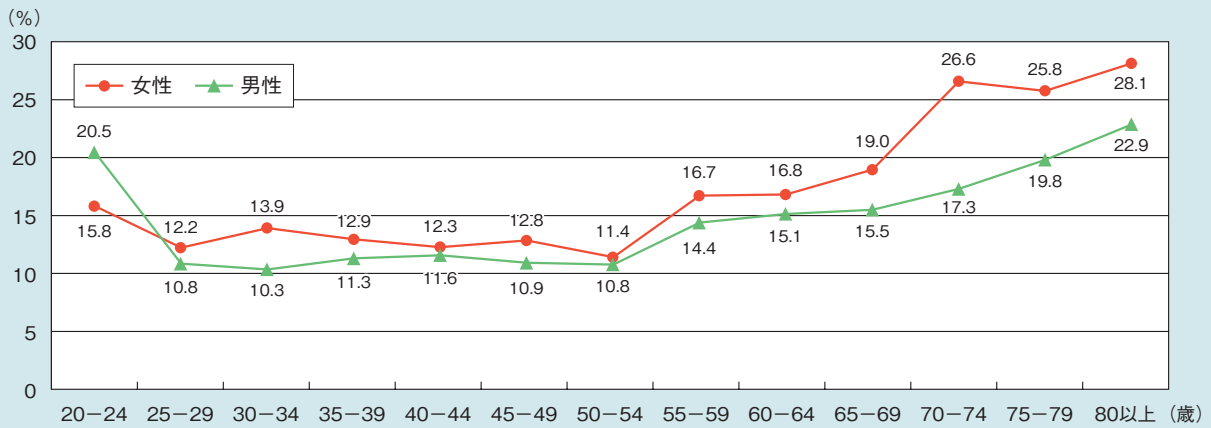
資料：内閣府「国民生活選好度調査」（平成16年）
 (注) 回答者は全国の15～79歳の男女3,670人。

図1-2-2-13 被保護人員の変移



資料：総務省「人口推計」「国勢調査」、厚生労働省「被保護者全国一斉調査(基礎調査)」より内閣府作成

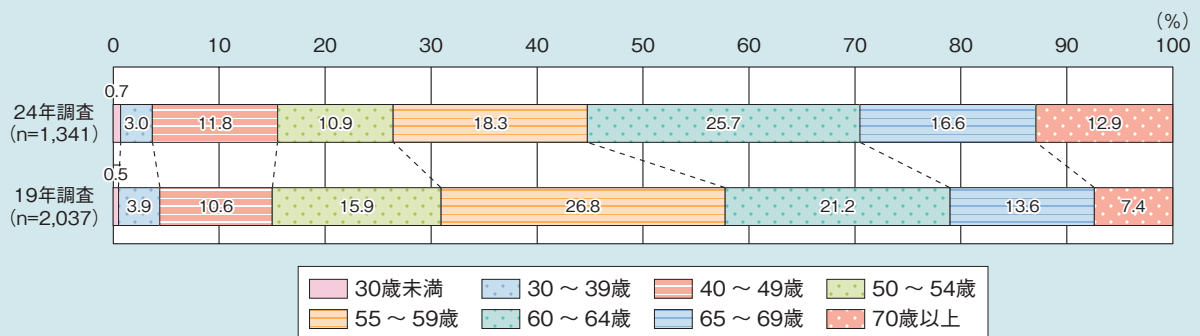
図1-2-2-14 男女別・年齢階層別相対的貧困率



資料：内閣府「平成23年版 男女共同参画白書」

(注)「相対的貧困率」とは、等価可処分所得(世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得)の中央値の半分に満たない世帯員の割合をいう。

図1-2-2-15 ホームレスの年齢分布



資料：厚生労働省「ホームレスの実態に関する全国調査(生活実態調査)」